

各位

新年を迎え、又、新たな一年がスタートしましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。この二年間は地域の方々ともお会いする機会が少なくなり、交流も情報交換も少なく、なんとなく孤立感を感じると言われる方も多かったですように思います。ここに児童館があるにも関わらず、活動が縮小したままではいけません。

今年こそ、この二年間に学んだ事を活かして事業や取り組みを活発にしていきたいと思っています。やはり人との繋がりは大事です。皆さんのお力もお借りして、子どもを真ん中にして頑張っていきたいと思っています。

又、子ども達には、沢山の遊びを経験して欲しいと思っています。子ども達は何でも遊びにします。遊んでいる子ども達の顔は笑顔いっぱいです。

そんな子ども達と過ごすには、関わる大人は遊び心が大事です。

児童館の職員は遊びを通して健全育成をしていくエキスパートです。

いくつになっても子どものように遊び心を持って関わっていきたいと思っていますので、私もまだまだ負けていられません。

日頃は館長業務をこなしていますが、時々遊びの仕切りや読み聞かせをするところがあるので、楽しいです！「館長先生今日も本読んで〜」とお呼びがかかること張り切っています(笑)こちらがワクワクします。次は何をしてあげようか…。

四月学童に入って中々馴染めなかった一年生の女の子、毎日帰りの会になると「しんどい…」と訴えにきます。熱はないのだけど、お母さんに電話をしてお迎えに来て頂くことが続きました。親御さんも早くしつかりして欲しいと思われていたと思います。「本人が大丈夫というまで、もう少し待ちましょう」と励ましながら過ごしていたのですが、秋ぐらいからうつむき加減だった顔をすっかり上げて、元気に過ごしてくれています。私の得意な遊び「エア―大縄跳び」をしていた時に、その子が「私もやりたい」と入ってきました。とてもいい顔をして、汗びっしょりです。子どもの「楽しかった〜」の言葉は最大の誉め言葉です。子どもの成長を目の当たりにした時、嬉しくてウルウルきます。何も変わらない一年だった…と思っていました。いえいえ子ども達は成長していました！

今年も子ども達にエネルギーいっぱいもらいましょー！

令和四年二月号のおたよりに添えて

社会福祉法人 積慶園 京都市嵯峨野児童館

館長 飯吉昌子